【西部工業技術センター】

金属薄板の成形技術

~ 汎用金型による逐次曲げ加工機 ~



セールスポイント

◆ 個別の金型を作らずに、金属薄板の自由度の高い曲げ加工(逐次曲げ加工)ができます。

【加工原理】

・金属薄板(被加工材)に、成形ロールを押し当てながら、移動させることで、連続的な曲げ加工をします。



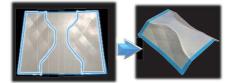
【加工例】



●曲げ角度を徐々に変えた加工品

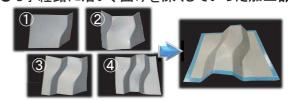






●たて壁だけ模様入り

● S字経路に沿い、曲げを深くしていった加工品



● 4本の曲げを加えた加工品(Sレイル)

活用場面と発明の特長

具体的な活用場面

- ◆ 曲げ加工メーカ
 - ・薄板の曲げの繰りかえしによる成形
- ◆ プレス加工メーカ
 - ・プレス部品への追加工(スプリングバック対策)

発明の特長

- ◆ 適正な位置で曲げ加工ができます。
- ◆ 曲げ角を滑らかに変更できます。
- ◆ 局所曲げなので大きな加工力は不要です。
- ◆ シミュレーションで加工予測ができます。

基本情報

発明の名称	①金属加工装置、ロボット、及び金属加工方法 ②金属加工装置及び金属加工方法		
特許権者	広島県		
出願番号	①特願2018-060675 ②特願2020-187860	出願日	①平成30年 3月27日 ②令和 2年11月11日
特許番号 公開番号	①特許第6452874号 ②特開2022-077157	登録日 公開日	①平成30年12月21日 ②令和 4年 5月23日
実施許諾実績	□有 ■無	事業化実績	□有 ■無
共同研究	■要相談 □不可	サンプル提供	■可 □不可
問い合わせ先	西部工業技術センター 生産技術アカデミー		TEL 082-420-0537